

東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン「モンゴル国との交流計画」

<< 宮崎県都城市 >>

1 これまでの経緯

○1999年にモンゴル国の首都・ウランバートル市と**友好交流都市**を締結するとともに、同国の**国際交流員**を配置し、これまで様々な交流を実施。

2 今後の取組

- レスリング**を通じた選手、指導者及び子どもたちによる交流（技術講習会、講演会等）の実施。
- 県内競技会への相手国選手の受入
- 地元食材を活用したレセプション等の実施。など

▼ レスリングを通じた交流



▼ 都城産宮崎牛のふるまい



3 ホストタウン推進によるレガシー

- 👍 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたモンゴル国・ウランバートル市との**更なる交流促進**。
- 👍 国際交流による**人間力あふれる子どもたちの育成**。

【参考】これまでの交流のあゆみ

- 1992年 市民有志による「モンゴルに風力発電機を贈る会」が設立
 - 1995年 都城工業専門学校とモンゴル国立科学技術大学と学術交流協定締結
 - 1999年 友好交流都市締結**
 - 2009年 友好交流都市締結10周年記念式典を都城市で開催**
 - 2013年 ウランバートル市へ高規格救急車1台を寄贈
 - 2014年 都城市副市長がウランバートル市創立375周年記念式典に参加
 - 2016年 ウランバートル市副市長が都城市新市誕生10周年記念式典に参加
- このほか、定期的な両市の訪問や様々な交流を実施する。
 また、**2019年には友好交流都市締結20周年**を迎える。

▼ 都城市での茶道体験



▼ 青少年による都城市訪問



▼ 都城市での書道体験

